

宮永岳彦記念美術館だより 2015 5月

発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2
TEL / FAX 0463-78-9100 http://www.city.hadano.kanagawa.jp/s-gakushu/miyanaga.html



常設展示室

秦野市制施行60周年記念

宮永岳彦 郷愁の情景展

2015年 2月4日(水) ▶ 8月9日(日)

◆◆ 展示作品より今月の一点 ◆◆
《「雅光」 竜安寺石庭》



宮永が水墨画を作品として発表しはじめたのは、1968年、中村直人らと現代水墨画会を結成する数年前からでした。「運筆の修練は名古屋市立工芸学校の在学中から積み重ねていた」と宮永本人が語っていたように、その素養は挿絵や童画にも早くから生かされています。そして墨の流線や濃淡、かすれの効果は油彩画にも融合され、ふんわりとした女性の髪形や衣装による独自のスタイルを創造し、後の鹿鳴館シリーズの美人画を完成させました。

和紙による偶然性に支配されがちな滲みの効果を意図的に描出するため、水墨画にはフランス製の水彩紙アルシュを好んで用いたことから、宮永の筆力に対する自負がうかがえます。竜安寺の石庭の大海に見立てた白砂は、大胆な筆遣いで描かれていますが、少し離れてみる波形は細かい砂の粒子で構成されているかのように見事に表現されています。

水墨画 1975年 39.0×46.5cm

観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料

宮永とぺんてる

今も昔も多くの子どもたち、大人たちに親しまれている「ぺんてるくれよん」。そのパッケージに描かれている男の子と女の子「ぺぺ」と「ルル」を生んだのが宮永でした。1950～1970年代の宮永は、ポスターや表紙画など、多くの商業デザインを手がけ、ぺんてるでは、広告用イラストや挿絵、また会社案内なども表情豊かに飾りました。

ぺんてるくれよんが発売されて今年でちょうど60年。少しずつリニューアルされながら、今も変わらずパッケージに描かれている、男の子と女の子「ぺぺ」と「ルル」は、楽しく絵を描く子どもたちをずっと見守っています。

5月の休館日：7日(木) 11日(月) 18日(月) 25日(月)

市民ギャラリーのご案内 入場無料

秦野美術協会 工芸部会展

4月28日(火)～5月3日(日・祝)

10:00～17:00 初日13:00から 最終日15:00まで

今年で、2回目の開催となります。工芸部員による作品50点余りを一同に展示し、皆様をお待ちしております。

秦野スケッチ会

秦野の自然を愛する仲間です

5月4日(月・祝)～5月10日(日)

10:00～17:00 初日13:00から 最終日16:00まで

自然豊かな秦野・丹沢大山の峰々や、里山と四季折々の風景画です。又、花のスケッチ等もご覧ください。

佐藤庄市 油彩・水彩画展

5月13日(水)～5月17日(日)

10:30～17:00 初日10:30から 最終日16:00まで

故郷九州北部4県のスケッチの旅より、水彩画を中心に油彩を含めて30数点を展示します。

(旧) 遙玄水墨画協会 第13回 西湘展

5月20日(水)～5月24日(日)

10:00～17:00 初日10:00から 最終日15:00まで

新しく生まれ変わった水墨画協会ですが、師の教えを胸に、自然の声に耳を傾け、心して作品に向かいました。

東山未生流 いけ花展

5月30日(土)～5月31日(日)

10:00～17:00 初日10:00から 最終日16:00まで

京都上京の本隆寺に家元を置くいけ花です。古典から現代花まで、20数点を展示して皆様のお越しをお待ちしています。

2015.6月の市民ギャラリー展覧会の予定

秦野写真連盟 第13回写真展

6月2日(火)～6月7日(日)

趣遊展(仮)

6月9日(火)～6月12日(金)

洋裁教室の洋服の作品展示(仮)

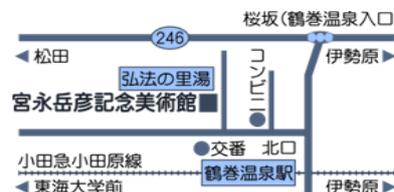
6月23日(火)～6月25日(木)

秦野フォトコミュニティ 第7回写真展

6月30日(火)～7月5日(日)

※5月1日(金)より2015年11月分までの予約を受け付けています。

美術館へのアクセス



◆ 小田急線鶴巻温泉駅より徒歩2分

◆ 駐車場 弘法の里湯と共用20台
1時間150円、以降30分ごとに100円

《隣接》 公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL0463-69-2641